

臨床検査技師 打ち手に

県内初、徳大で開始

徳島大は2日、臨床検査技師による新型コロナウイルススワクチン接種を、大学拠点接種の会場である徳島市の蔵本キャンパスで始めた。臨床検査技師による接種は県内で初めてという。

県臨床検査技師会によると、技師は採血で注射器を扱っており、国は被接種者の同意や研修などを条件に接種への協力を認める。今回の大学拠点接種では、必要な研修を受けた徳島大病院の技師12人が21日まで協力する。

この日は技師1人が、歯科医師、看護師計3人と共に、2回目の学生ら約400人に注射した。徳島大大学院2年の西垣真子さん(23)は「医師や看護師と同様に注射器の扱いに慣れていて、安心して受けられた」。県臨床検査技師会の中尾隆之会長は「研修を受ければ問題なく接種に協力できると感じていた。医師

(南志郎)